

Simple Syllabus to Support your Learning

第3学年	国語科	使用教材	新しい国語3	副教材	解いて覚える中学生の文法・新国語便覧・単元別漢字ノート
------	-----	------	--------	-----	-----------------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

・国語の基礎的な知識(漢字や語句、文法など)を身に付けることができる。 ・説明文や物語を読んで、筆者の考えを読み取ったり、登場人物の人物像や心情を捉えたりする力を身に付けることができる。 ・根拠を明確にして自分の考えを書いたり話したりする力を身に付けることができる。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	・定期テスト ・漢字小テスト ・授業で取り組む課題(読む、話す・聞く、書くなど)
第2観点	思考・判断・表現	・定期テスト ・授業で取り組む課題(読む、話す・聞く、書くなど)
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	・授業に取り組む様子 ・振り返りカード ・提出物

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

・物語や説明文を読んで、様々な課題に取り組みます。積極的に意見を交流しましょう。 ・iPadを使って課題に取り組んだり、意見を書いたり交流したりすることもあります。	・読めない、書けない漢字の練習をする。 ・意味の分からない語句を調べる。 ・文法や表現技法など、重要事項を確認する。 ・授業の学習内容を復習する。
--	---

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

・授業で使ったプリントなどを見て、授業内容を復習しましょう。授業での質問内容について、自分の意見をまとめるのも良いです。 ・漢字、文法、古語などは、苦手なところを中心に確認しましょう。	・漢字や語句、文法などは繰り返し学習をして、知識を定着させましょう。 ・文章を読み解く力や話したり聞いたりする力、文章を書いたりする力は、授業で行う課題に一生懸命取り組んで身に付けましょう。
--	---

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	・巻頭詩「生命は」 ・随筆「二つのアザミ」 ・「俳句の読み方、味わい方」 ・文学「形」 ・文学「百科事典少女」 ・論説文「絶滅の意味」 ・随筆「恩返し井戸を掘る」	・詩の内容を考える。 ・「言葉」について考える。 ・俳句の鑑賞、俳句作成 ・本文および人物の心情読解 ・登場人物の心情読解 ・文章の構成や論理の展開。 ・読んだ本の感想を交流し	・詩の内容を読み取る力 ・言語に対する感性、感覚 ・俳句を読み取り、作る力 ・人物の心情を捉える力 ・場面の展開や表現の仕方、人物どうしの関係を捉える力 ・文章の構成や論理の展開を捉え、評価する力	2学期	・和歌「万葉・古今・新古今」 ・古文「おくのほそ道」 ・漢文「論語」 ・文法「文法のまとめ」 ・書写「書き初め」	・和歌の音読、読解 ・紀行文の音読、読解 ・漢文の音読、古典の言葉を読み味わう。 ・文法事項の学習 ・漢字と仮名の調和のとれた文字を行書で書く。	・和歌を鑑賞する力 ・古文を音読し、読み解く力 ・訓読文の理解、漢文を鑑賞する力 ・文法事項に関する知識 ・行書で言葉を書く力
				3学期	・文学「故郷」 ・評論文「何のために働くのか」 ・報道「いつものように新聞が届いた」	・人物像や心情の読解 ・本文の内容読解、筆者の主張の読解 ・情報やメディアの意義を考える。	・人物像や心情を捉える力 ・文章の内容や筆者の主張を捉える力 ・メディアについて理解する力
2学期	・評論文「幸福について」	・筆者の考えを吟味し、議論する。	・文章の内容を踏まえて議論する力				

Simple Syllabus to Support your Learning

第3学年	社会科	使用教材	新しい社会歴史（東京書籍）	新しい社会公民（東京書籍）	副教材	歴史資料　ビジュアル公民　社会の自主学習2・3(歴史・公民)
------	-----	------	---------------	---------------	-----	--------------------------------

【学習の目的は？　1年間でどんなことができるようになるの？】

【どうやって通知表をつけるの？】

歴史的分野と公民的分野の学習を通して、現代社会のあり方について理解を深める。 さまざまな事例から多角的に日本と世界のありさまをとらえ、平和的・民主的な国家・社会の形成者として、私たちの未来を主体的に学習する。

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①各課題に集中して取り組み、自分の考えを深めよう。 ②ノートのメモ欄を工夫して、まとめノートとして活用しよう。	①教科書や資料集を精読する。 ②関心を持ったことを調べる。
--	----------------------------------

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①教科書、資料集、ノートの振り返り ②授業中のポイントを反復学習する。	①授業に集中し、正確に理解する。 ②重要語句を反復学習する。
--	-----------------------------------

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	定期テスト（各テストの観点ごとの評価） 課題プリントの内容 小テスト等
第2観点	思考・判断・表現	定期テスト（各テストの観点ごとの評価） 課題プリントの内容等
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	定期テスト（各テストの観点ごとの評価） ※一定割合、Eチャレから定期テストの問題を出題します。 課題プリントの内容 授業中の姿勢等

【1年間の授業の進め方　と　つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	歴史的分野			2学期	現代の民主政治と社会	・「政治」について、国と地方公共団体の政治のしくみと役割について学ぶ。	・国会・内閣・裁判所のはたらきと地方自治について理解できる。
	二度の世界大戦と日本	・世界大戦の背景と戦後の国際協力体制について学ぶ。	・過去の出来事に学び、現代の社会につなげていく力を身に付ける。		わたしたちのくらしと経済	・「経済」のしくみと財政のはたらきについて学ぶ	・さまざまな経済活動が私たちの生活に関連していることがわかる。
	現代社会と日本	・戦後の日本が、どのように国際社会に復帰し、経済復興していったのかを学ぶ。	・戦後日本と世界のあゆみから、現代社会の課題について理解できる。	3学期	地球社会とわたしたち	・国際社会と地球社会が抱えている問題について学ぶ。	・国際問題解決のためのさまざまな取組を理解し、私たちの未来について考える。
2学期	公民的分野						
	現代社会と私たち	・現代社会における課題や社会生活を営むために必要なことを学ぶ。	・少子高齢化や情報化の課題と今後の展望が説明できる。				
2学期	個人の尊重と日本国憲法	・日本国憲法の基本原理について学ぶ。	・憲法の基本原理を理解し、それを実現していくための力を身に付ける。				

Simple Syllabus to Support your Learning

第3学年	数学科	使用教材	未来へひろがる数学3（啓林館）	副教材	よくわかる数学の学習3（明治図書）
------	-----	------	-----------------	-----	-------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

- 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理について理解を深める。 - 数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察して表現する。 - 数学のよさを実感し、活用して考えたり判断したりする力を身に付ける。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	・授業の様子 ・小テスト ・定期テスト ・単元末テスト
第2観点	思考・判断・表現	・授業の様子 ・レポート ・定期テスト ・単元末テスト
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	・授業の様子 ・振り返り ・提出物（ワーク、宿題等） ・レポート

【授業の進め方とポイント？】	【家庭学習のポイントは？】
①前時までの復習と今日のねらいを明確にする。 ②新しい用語や公式、証明を理解する。 ③例題を通して解法や考え方を学ぶ。 ④問や問題集で繰り返し演習し、定着させる。	①その日に学んだことを、教科書や問題集・プリントで練習しよう。 ②以前に学習した内容も、反復して繰り返し練習しておこう。

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】	【基礎・基本の身につけ方は？】
①定理や性質、用語を覚える。 ②教科書やノートで解法を確認し、理解を深める。 ③問題集やプリントで繰り返し練習する。	①先生の話をよく聞き、分からないところは先生に質問する。 ②教科書やノートで解法を確認し、問題集でよりレベルの高い問題に挑戦する。

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	1章 式の展開と因数分解	・式の展開と因数分解 ・式の計算の利用	文字を用いた簡単な多項式について、式の展開や因数分解ができる。	2学期	5章 図形と相似	・図形と相似 ・平行線と線分の比 ・相似な図形の計量 ・相似の利用	図形の性質を確かめ、論理的に考察し表現できる。
	2章 平方根	・平方根 ・根号をふくむ式の計算 ・平方根の利用	新しい数の存在を知り、根号をふくむ式の計算や変形ができる。		6章 円の性質	・円周角と中心角 ・円の性質の利用	円周角と中心角の関係などの円の性質を活用して、表現できる。
	3章 二次方程式	・二次方程式 ・二次方程式の利用	二次方程式やその解法について理解し、解くことができる。	3学期	7章 三平方の定理	・直角三角形の3辺の関係 ・三平方の定理の利用	三平方の定理を見出して理解し、それを用いて活用できる。
2学期	4章 関数 $y = ax^2$	・関数とグラフ ・関数 $y = ax^2$ の値の変化 ・いろいろな事象と関数	関数 $y = ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解することができる。		8章 標本調査とデータの活用	・標本調査	標本調査の必要性和意味を理解することができる。

Simple Syllabus to Support your Learning

第3学年	理科	使用教材	未来へひろがるサイエンス3	副教材	ステップ式理科ノート、3年間の総まとめ問題集、理科便覧
------	----	------	---------------	-----	-----------------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

【どうやって通知表をつけるの？】

観察・実験を通して、身の周りや自然で起こる様々な現象について、興味を持ち、理解を深める。 また、科学的な見方や考え方を身につけるとともに、自ら進んで自然について考えようとする力を伸ばす。
--

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①前時までの復習と本日の課題 ②観察・実験を行い、現象を確認 ③観察・実験の結果をまとめ、考察 ④問題演習をして、内容を確認	等	①教科書を読んで復習。プリントを反復。 ②なぜ現象が起こったかを理解し、説明できるようにする。 ③毎時間の授業のつながりを整理する。
---	---	--

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①教科書とノートの内容を確認する。 ②演習を繰り返し行う。 ③観察実験のレポートを理解する。	①ノートを見直し、問題演習を行う。 ②重要語句をしっかりと覚える。 ③学んだことと、日常生活を結びつける。
--	---

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	定期テスト 小テスト 実験・観察の取り組み レポート 等
第2観点	思考・判断・表現	定期テスト 小テスト レポート 等
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	定期テスト 小テスト ノート・態度・提出物 等

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	【生命】生命の連続性 1章：生物のふえ方と成長 2章：遺伝の規則性と遺伝子 3章：生物の種類の多様性と進化	・細胞分裂 ・生殖 ・遺伝 ・電解質と非電解質	観察や実験を通して、生物の成長を細胞分裂と関連させて考える。	2学期	4章：多様なエネルギーとその移り変わり 5章：エネルギー資源とその利用 【地球】宇宙を観る 1章：地球から宇宙へ	・自転と公転 ・太陽系と銀河系	天体の動きを知り、金星や月の満ち欠けを理解することができる。また太陽系より広い宇宙の銀河系などについて特徴を知る。
	【物質】化学変化とイオン 1章：水溶液とイオン 2章：電池とイオン 3章：酸・アルカリと塩	・イオン ・電離 ・酸とアルカリ ・中和	実験を通して、イオンの概念を形成させ、酸・アルカリの性質と中和実験の結果をイオンモデルと関連させて理解する。		2章：太陽と恒星の動き 3章：月と金星の動きと見え方 【環境】自然と人間 1章：自然界のつり合い 2章：さまざまな物質の利用と人間 3章：科学技術の発展 4章：人間と環境 5章：持続可能な社会をめざして	・日周運動と年周運動 ・金星の満ち欠け ・日食と月食 ・物質の循環 ・人間と環境 ・自然と人間のかかわり ・科学技術と人間 ・持続可能な社会	生活との関わりやつり合いについて理解し、自然と人間の関わり方について考える。また、科学技術利用の在り方について考察し判断する。
2学期	【エネルギー】 運動とエネルギー 1章：力の合成と分解 2章：物体の運動 3章：仕事とエネルギー	・力の合成、分解 ・作用反作用の法則 ・仕事 ・エネルギー	物体にはたらく力と運動の間の規則性について理解し、エネルギーは移り変わっても総量が保存するとわかる。				

Simple Syllabus to Support your Learning

第3学年	音楽科	使用教材	中学生の音楽下、中学生の器楽（教育芸術社）	副教材	音楽の鑑賞資料と基礎学習
------	-----	------	-----------------------	-----	--------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽のよさや美しさを感じ取り、 より豊かな表現力を身に付ける。生涯に渡って音楽を愛好する心情を持つ
--

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	歌唱・器楽の練習の様子、提出物の内容 定期テスト、実技テスト
第2観点	思考・判断・表現	プリント類の提出とその内容 定期テスト、実技テスト
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	実技練習の様子、定期テスト、実技テスト 授業中の様子、プリント類の提出

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①持ち物をそろえて持ってくる ②話を聞くととき、表現活動をするときのメリハリを付ける。	特になし
--	------

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①授業内容の復習 ②プリント類を読み返し、ポイントを整理・理解する。＊期末テストを実施	①いろいろな音楽を聞く。 ②反復練習をする。 ③間違いをおそれず音で表現する。
--	---

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	・歌唱 ・器楽 ・鑑賞	「花」「花の街」 「Let it be」 歌唱テスト 合唱コンクールの準備 リコーダーアンサンブル	・歌詞の内容や曲想に関心を持って表現する。 ・声部の重なり方の特徴を活かし、いろいろな演奏形態で重奏ができる。 ・日本の芸能に関心を持ち、特徴を味わい聞く。	2学期	・鑑賞 ・器楽 ・楽典	交響詩「ブルタバ」「ボレロ」 いろいろな演奏形態の器楽曲 器楽アンサンブル 作曲	・楽曲の背景を理解し、曲想を味わい聞く。 ・簡単な創作ができ、記譜と自演をする。
		日本の伝統芸能 「能」「文楽」「歌舞伎」		3学期	・歌唱 ・器楽 ・鑑賞	「早春賦」 「卒業式歌」 ソロ演奏 雅楽	・3年間の集大成の合唱を学年全員でつくり上げる。 ・日本の伝統音楽に関心を持ち、特徴を味わい聞く。
2学期	・合唱 ・歌唱	合唱コンクールの練習 実技テスト 「帰れソレントへ」 ポピュラー音楽・音楽史	・各声部の役割を理解し、豊かな表現力で協力して合唱しようとする。				

Simple Syllabus to Support your Learning

第3学年	美術科	使用教材	美術2・3下（日本文教出版）	副教材	美術資料（秀学社）・WATCH（秀学社）
------	-----	------	----------------	-----	----------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

造形的な視点について理解するとともに、表現方法を追求し、創造的に表す。独創的、総合的に考え、豊かに発想して構想を練り、美術や美術文化についての見方や感じ方を深める。主体的に美術活動に取り組み、美術を愛好する心を育てる。

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

- ①学習目標や作品、技法について知る。
- ②対話やワークシートなどで発想を深める。
- ③学んだ知識や技法を用いて制作する。
- ④鑑賞を通して学習の振り返りをする。

- ①制作の資料を集めよう。
- ②見通しをもち、計画的に進めるための自己点検をしよう。

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

- ①教科書、美術資料の確認。
- ②授業プリントの復習や確認。
- ③技法や制作手順、注意点などを確認。

- ①授業や教科書で学んだ技法や手順をよく理解し、実践する。
- ②様々な機会を利用して美術に親しむ

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	提出作品（材料・用具の活かし方や表現の工夫）、定期テストなど
第2観点	思考・判断・表現	アイデアスケッチ、作品のテーマ構想、定期テストなど
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	授業態度（取組姿勢）、ファイル（プリントの記入内容）提出作品の完成度や充実度、定期テストなど

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	表現(絵画) 私との対話	・様々なモダンテクニックに挑戦しよう。	・表現の幅を広げ、自分が「何を美しいと感じるか」を考え、今後の制作につなげる。	2学期	表現（色面構成）	・遠近図法に挑戦しよう。	・遠近図法について知り、色の効果も合わせて立体的な表現をすることができる。
		・自分を見つめ、自分の気持ちや性格、夢や思い出などについて考え、主題を生み出そう。	・自分の姿や心の中を見つめて考えたこと、将来の夢などから主題を生み出し、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に表す。			・自分を深く見つめ、自分の印としてのオリジナルな印鑑を作ろう。	・印について知り、その機能性とデザイン性を備えた美について考え、表現することができる。
2学期				3学期	オリジナルな印を作ろう		

Simple Syllabus to Support your Learning

第3学年	保健体育科	使用教材	新しい保健体育(東京書籍)	副教材	新しい体育実技(東京書籍)
------	-------	------	---------------	-----	---------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

【どうやって通知表をつけるの？】

運動の楽しさを体験するとともに、生涯を通して運動に親しみ、実践し、継続していく能力や態度を身につける。また健康や安全に関する内容を科学的に理解する。
--

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

①ランニング・トレーニング ②あいさつ・今日の授業内容の説明 ③課題を理解しての反復練習 ④実技テストや記録会	①基本的生活習慣を確立する。(実践力)
--	---------------------

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

①教科書をよく読み、理解する。 ②ノートの問題を復習する。 ③プリントがあればしっかりみておく。	①運動や健康について興味・関心をもつ。 ②日常生活では、自分の健康や体力作りの意識を高める。
--	---

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	・授業内での技能テスト ・定期テスト ・授業における活動状況(個人、グループワーク、試合等)
第2観点	思考・判断・表現	・単元(種目)ごとの学習カード ・定期テスト ・授業における活動状況(個人、グループワーク、試合等)
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	・単元(種目)ごとの学習カード ・技能テスト(タイム・技術・連携等)の変化 ・授業における活動状況(個人、グループワーク、試合等)

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1 学 期	球技 陸上競技 水泳 保健	集団行動、新体力テスト	・号令により集団に合わせて行動できる。 ・パスやシュート等の技術を習得しミニゲームができる。 ・自分にあった目標を設定し挑戦する。 ・25mを正しいフォームで泳ぐ。	2 学 期	球技	ソフトボール	・ルールを正しく理解し、グループで協力して試合ができる。 ・自分のできる技を増やす。 ・基本動作や基本技を身に付ける。 ・持久力を身に付ける。
		バスケットボール			器械運動 武道 陸上競技	跳び箱 柔道 長距離走	
		走り幅跳び、走り高跳び			保健	健康な生活と疾病の予防③	
		クロール、平泳ぎ、背泳ぎ			表現運動	ダンス	
2 学 期	体育大会に向けての練習	健康と環境	・協調性をもって取り組む。 ・バトンパスの有効な方法を理解する。	3 学 期	球技	サッカー	・音楽に合わせて体を動かすことができる。 ・パスやシュート等の基本技術を身に付ける。
		ラジオ体操 リレー			保健	健康な生活と疾病の予防③	

Simple Syllabus to Support your Learning

第3学年	技術科	使用教材	技術・家庭〔技術分野〕（東京書籍）	副教材	小菊、簡易型プログラム言語、制御ロボット「EV3」
------	-----	------	-------------------	-----	---------------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

- (1) 生活や社会で利用されている生物育成及び情報の技術についての基本的なことを理解し、それらに係る技能を身につけることができる。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見出し、課題を解決する力を身につける。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて工夫し、創造しようとする実践的な力を身につける。

【授業の進め方とポイントは？】

【家庭学習のポイントは？】

(1)問題提起および課題説明 (2)実際にやってみる。考えを発表する。 (3)問題点を見つけ、解決に向けて行動する (4)活動を振り返り、評価をする。	・与えられた提出課題は早めに、丁寧に完成させ、期限を守って提出する
--	-----------------------------------

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】

【基礎・基本の身につけ方は？】

・授業の内容をノートやパッドを使って記録し、テスト前にはしっかり見直す。 ・提出課題をテスト前にもう一度やり直す	・毎時間の授業内容をその日のうちに振り返る。 ・疑問に思ったことは、先生に質問して分かるようにしておく。
---	---

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	・プログラムの命令の意味を理解し、実際にプログラムを組める ・得た知識を活用し、具体的に制作、育成に取り組める ・限られた時間内に、与えられた課題を正確に完成させる
第2観点	思考・判断・表現	・自分の意見、考えを発表することができる ・栽培の記録を正確にレポートにまとめ、提出できる ・課題解決に向けて考えることができる
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	・毎時間の授業の内容をノート、パッドに記録し、提出できる ・技術に関する事柄に興味・関心を持って学習に取り組める

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	2. 生物育成に関する技術	・作物の栽培を中心に生物育成の技術を学び、栽培の計画を立てる。 ・小菊を栽培しながら、問題の解決をはかり、適切な管理作業ができる。	・育成する作物に適した環境条件を考えることができる。 ・育成する目的に合わせて、栽培計画を立てることができる。	2学期	4. 情報に関する技術	・計測・制御のプログラミングによる問題解決	する方法について考えることができる。 ・計測・制御の仕組みを理解し安全・適切なプログラム製作、動作の確認及びディバッグ等ができる。
				3学期	4. 情報に関する技術	○コンピュータの基本操作 ・表計算処理ソフトの活用	・表計算処理ソフトを活用し、データの分析、まとめができる
2学期	4. 情報に関する技術	○プログラミング ・双方向性のあるコンテンツのプログラミング	・コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正				

Simple Syllabus to Support your Learning

第3学年	家庭科	使用教材	技術・家庭〔家庭分野〕（開隆堂）	副教材	家庭科ワークノートA（地域教材社）
------	-----	------	------------------	-----	-------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

【どうやって通知表をつけるの？】

家族や家庭、幼児の心身の発達に関する学習活動を通して、自分の成長や家族・家庭、幼児の発達と生活についての関心と理解を深め、家族や地域の人々との良好な関係を築くことへの意識を高める。
--

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	定期テスト、実習状況とそのまとめ
第2観点	思考・判断・表現	定期テスト、実習状況（準備・計画性・場面に適した行動・他との協力など）、作品、学習プリント、など
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	授業中（含実習）の様子、ワークノートや学習プリントの活用状況、提出物の内容と提出状況、自己評価表、定期テストへの取り組み状況など

【授業の進め方とポイントは？】	【家庭学習のポイントは？】
①復習と本時のねらい ②教科書の内容を理解 ③ワーク・学習プリントで学習内容や実習内容の確認	①授業で学習した教科書の内容を復習しよう。 ②授業で活用しているワークと学習プリントの内容を復習し、実生活でも役立てよう。 ③ワークや学習プリントで学習内容のまとめや問題演習に取り組もう。

【定期テストへの勉強方法やポイントは？】	【基礎・基本の身につけ方は？】
①教科書の内容理解 ②ワーク、学習プリントの内容理解 ③実習内容の復習とまとめ	①教科書をよく読み、内容を理解する。 ②ワーク・学習プリントの内容を理解する。 ③実習準備や事後の振り返りをしっかり行う。

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	家族・家庭と子どもの成長	・私たちと家族・家庭と地域 ・幼児の生活	・家庭生活と地域との関わりについて理解を深める。 ・幼児の心身の発達について理解する。 ・幼児の生活の特徴と家族や地域の役割について理解する。	2学期	幼児の生活と遊び	・ふれあい体験学習に向けてのおもちゃの制作 ・幼児との関わり方の工夫 ・ふれあい体験学習とその振り返り	・おもちゃの制作を通して幼児の発達とおもちゃとの関連を理解する。 ・ふれあい活動を通して、自分の成長を振り返り、幼児に対する理解を深める。
	幼児の生活と遊び	・幼児の遊びと発達	・遊びの重要性を理解し、発達の段階にふさわしい遊びやおもちゃがわかる。	3学期	これからのわたしと家族	・中学生の自分と家族との関わりについて	・家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとする。

Simple Syllabus to Support your Learning

第3学年	英語科	使用教材	Here We Go! English Course（光村図書）	副教材	New Enjoy3、3分リスニング、Joyful Listenig3 等
------	-----	------	----------------------------------	-----	---------------------------------------

【学習の目的は？ 1年間でどんなことができるようになるの？】

- 他者の書いた長い英文を聞いたり読んだりして、自分の考えを適切な英文で話したり、書いたりできる。 - これまでの自分のことや社会的な問題などについて、考えを順序立てて伝え合うことができる。 - 英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。

【どうやって通知表をつけるの？】

	評価の観点 (各ABCの3段階)	評価の対象とする主な学習や活動等
第1観点	知識・技能	定期テスト・リスニングテスト・パフォーマンステスト等
第2観点	思考・判断・表現	定期テスト・リスニングテスト・リーディングテスト、インタビューテスト、パフォーマンステスト等
第3観点	主体的に 学習に取り組む 態度	パフォーマンステスト・提出課題等

【授業の進め方とポイント？】	【家庭学習のポイント？】
----------------	--------------

① リスニング練習 ② 新出単語、熟語の練習（個人、ペア） ③ 新しい文法の導入と口頭での運用練習 ④ 教科書の内容を理解 ⑤ ワークやプリントなどを解く など	① 習った単語や英文を何度も声に出して読む。 ② ワークなど、練習問題を解く。 ③ 習った単語や英文を使って日記を書く。
--	--

【定期テストへの勉強方法やポイント？】	【基礎・基本の身につけ方は？】
---------------------	-----------------

① 既習の単語や基本文を総復習する。 ② 教科書の本文を何度も音読する。 ③ ワークやプリントなどを解く。 ④ 自分の考えを英語で表現する。	・毎日英語に触れる。(聞く、読む、書く、) ・既習単語、熟語を覚える。 ・ワークなどの間違った問題やわかりにくい所を、先生に質問してわかるようにする。
--	---

【1年間の授業の進め方 と つけたい力】

学期	単元	学習内容	つけたい力	学期	単元	学習内容	つけたい力
1学期	・Unit 1: School Life Around the World ・Daily Life 1	・受動態や既習事項を使った学校紹介の英文を読んで理解したり、表現する	・学校紹介の記事から、日本の学校との違いを読み取ることができる	2学期	・Unit 4: AI Technology and Language ・Let's Read 2	・複文を作り人や物を説明する ・関係代名詞を使った英文の用法と意味を理解しながら、流れや要点を読み取る	・投稿文から、それぞれの意見の要点を読み取ることができる
	・Unit 2: Our School Trip ・Daily Life 2	・現在完了形と過去形を区別して、過去から現在に影響する場所や人物に関わる英文を読んで、理解したり表現する	・おすすめの場所について、伝え合うことができる		・Unit 5:Platic Waste ・Daily Life 3 ・Plastic Waste	・世界の課題について、他者の考えを理解し自分の考えを表す	・ロボットを使った社会や環境問題について理解し、自分の考えを伝えることができる
	・Unit 3 : Lessons From Hiroshima ・Let's Read 1 ・World Tour 1 ・You Can Do It!	・日記の内容を読み取る ・自分の日記を書く ・世界の話題に触れ、理解した上で自分の考えを述べる	・人物の経験や心情を読み取り、感じたことなどを発表できる ・日記から出来事や気持ちを読み取ることができる ・日々の出来事を日記に書くことができる		・Unit 6: The Chorus Contest ・You Can Do It!	・日本の文化を外国の人に説明を加えながら紹介する	・日本の文化や絵にふさわしいセリフを考えて発表できる
				3学期	・Unit 7: Tina's Speech ・World Tour 2 ・Let's Read 3	・後置修飾や仮定法を使い、将来の目標や夢を発表する	・自分の将来の目標と今までの努力の過程などを表現できる
					・Unit 8: Goodbye, Tina ・You Can Do It !	・様々な長文に触れ、大意を掴み、自分の考えを表す	・手紙を読み書きできる。 ・様々な話題の長文を理解し、自分の意見を伝えられる